

2012年第1四半期の業績を発表

(このプレスリリースは、2012年4月19日に米国ボストン・サイエンティフィック社が発表したプレスリリースを翻訳したものです。)

ボストン・サイエンティフィック社(本社:マサチューセッツ州ネイティック、NY証券取引所略号:BSX)は本日(2012年4月19日)、2012年3月31日締め第1四半期の業績、ならびに2012年第2四半期および通年の売上高と1株当たり利益(EPS)の予測を発表しました。

2012年第1四半期およびその他の主要項目

- 売上高は18億6,600万ドルを達成し、GAAPベースの1株当たり利益は0.08ドル、修正後利益(EPS)は0.15ドルと、いずれも会社のEPS指針を上回る
- 全世界でペリフェラルインターベンション事業部門8%、ニューロモジュレーション事業部門8%、エンドスコープ事業部門5%と、それぞれ売上が増加(為替変動の影響を除く)
- 薬剤溶出型ステントのシェアが全世界で34%、米国で46%と、業界トップの座を維持
- PROMUS Element™ 冠動脈ステントシステムとPROMUS(XIENCE V®)^[1]とを比較する2年間のPLATINUM試験で有効な結果を達成し、同試験の1年目から2年目の画期的な結果分析によりPROMUS Elementの優れた有効性を立証
- ベースメーカーのシリーズであるINGENIO™の欧州での発売を開始し、キャメロン・ヘルス社および同社の新製品である皮下植込み型除細動器(S-ICD)システムを買収する権利を行使することにより、会社のカーディアック・リズム・マネジメント(CRM)事業のイノベーションおよび成長に貢献
- 従来のクレジット・ファシリティに替えて、期間5年、限度額20億ドルの新たなリボルビング・クレジット・ファシリティを導入することによりボストン・サイエンティフィック社の財務柔軟性が強化され、主要格付け機関3社より投資適格格付けを再び獲得
- 2,300万株の買い戻しを実施し、2011年の自社株買戻しプログラムに基づく株式買戻しは累計で1億株を超えた

「第1四半期の業績は、今後の成長プロファイルの改善および戦略の実行が引き続き進展していることを示しており、満足しています」とCEOであるハンク・クッシュマンは述べています。

2012年第1四半期業績

2012年第1四半期の売上は18億6,600万ドルで、2011年第1四半期の19億2,500万ドルに比べると3%の減少でした。為替変動の影響と売却した事業の売上高を除くと、前年同期比で3%の減少となりました。

全世界での為替変動の影響を除いた第1四半期の売上高は次の通り(リポーテッドベース):

in millions	Three Months Ended		Change	
	March 31,		As Reported Currency Basis	Constant Currency Basis
	2012	2011		
Interventional Cardiology	\$ 603	\$ 635	(5) %	(5) %
Cardiac Rhythm Management	501	559	(10) %	(10) %
Endoscopy	302	287	5 %	5 %
Peripheral Interventions	190	176	8 %	8 %
Urology/ Women's Health	120	120	0 %	0 %
Neuromodulation	84	77	8 %	8 %
Electrophysiology	37	37	1 %	1 %
Subtotal Core Businesses	1,837	1,891	(3) %	(3) %
Divested Businesses	29	34	N/A	N/A
Worldwide	\$ 1,866	\$ 1,925	(3) %	(3) %

成長率は四捨五入しない実数値であり、再計算しない。

GAAPベースで、2012年第1四半期の純利益は1億1,300万ドル(1株あたり0.08ドル)でした。この業績は買収・売却関連の費用、組織再編の関連費用、償却費用の1億700万ドル(1株あたり0.07ドル)を含みます。これらの費用を含めない2012年第1四半期の修正後純利益は、2億2,000万ドル(1株あたり0.15ドル)でした。

GAAPベースで、2011年第1四半期の純利益は4,600万ドル(1株あたり0.03ドル)でした。この業績は営業権の減損費用、買収・売却関連の正味費用、組織再編に関連する費用、税制上の優遇措置および償却費用の2億9,000万ドル(1株あたり0.19ドル)を含みます。これらの費用を含めない2011年第1四半期の修正後純利益は、3億3,600万ドル(1株あたり0.22ドル)でした。

2012年第2四半期および通年の指針

ボストン・サイエンティフィック社は、2012年第2四半期の売上高を18億5,000万ドルから19億5,000万ドルの範囲内と予想しています。また、GAAPベースで1株当たりの利益は0.06ドルから0.09ドルの間になる見込みです。買収・組織再編に関連した費用、償却費用を除いた1株当たりの修正後利益は、0.14ドルから0.17ドルの範囲になると予想しています。

ボストン・サイエンティフィック社は、2012年通年の売上高を73億5,000万ドルから76億5,000万ドルの範囲内と予想しています。また、GAAPベースで1株当たりの利益は0.25ドルから0.38ドルの間になるとの見込みです。買収・組織再編に関連した費用、償却費用を含めない1株当たりの修正後利益は0.60ドルから0.70ドルの範囲になると予想しています。

電話会議についての情報

ボストン・サイエンティフィック社の役員は、本日(4/19)午前8時00分(東部標準時)より、これらの業績に関してアナリストと電話会議を行う予定です。ボストン・サイエンティフィック社は、電話会議の様子を会社サイトのIRのセクション www.bostonscientific.com/investors にて配信します。アクセス方法の詳細についてはこのウェブサイトでご確認ください。この電話会議は、ボストン・サイエンティフィック社のウェブサイトにて約1年間配信する予定です。

^[1] Xience Vは、アボット・ラボラトリーズグループの登録商標です。PROMUSステントは、アボット社が製造したXience Vステントのプライベートブランド製品で、ボストン・サイエンティフィック社が販売しています。

将来予測に関する記述についての注意事項

このプレスリリースには、証券法(1933年制定)第27A条および証券取引法(1934年制定)第21E条の意味するところの将来予測に関する記述が含まれています。「予期する」「期待する」「予想する」「信じる」「計画する」「推定する」「意図する」などの語句を用いた表現が将来予測の記述となりますが、これらの記述は現時点で得られた情報による確信、想定、推定に基づくものであり、将来の事象や実施を保証することを意図するものではありません。将来予測の記述には、2012年度第2四半期および通年の純売上高・GAAPベースの業績・修正業績についての予測、製品市場、製品の性能と効果、新製品の上市と上市動向、臨床試験成績、ビジネス戦略の影響、私たちの成長の位置づけなどに関する記述なども含まれます。基本的な前提が結果的に不正確であった場合、もしくは一定のリスクや不確実な要素が具体化するような場合には、将来予測に関する記述で明示または含意された見込みおよび予測と実際の結果が大幅に異なる可能性があります。これらのリスクや不確実な要素は、事業戦略の実施能力に対して実際に影響している場合や、将来的に実施能力に影響を及ぼす可能性があり、本プレスリリースの記載で予期した結果と実際の結果が大幅に異なる状況をもたらすことがあります。そのため、本プレスリリースの読者は将来予測に関する記述について全面的に依拠することを避けるよう注意してください。

このような相異をもたらすリスクや不確実な要素には、将来の経済、政治、競争入札、償還、法および規制の諸条件、新製品の導入、市場における新製品の受容、米国のCRM市場などの製品市場、市場価格、手続き量、臨床試験の結果、人口統計学的動向、知的所有権および関連その他の訴訟、金融市況、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブを含めたビジネス戦略の実施と影響、ボストン・サイエンティフィック社および競合他社の将来的な経営上の意思決定などがあります。新たなリスクや不確実な要素が時として生ずる可能性があり、予想は困難です。これらの要因すべてを正確に予測することはほとんど不可能であり、また、多くは制御できません。ボストン・サイエンティフィック社の将来的な経営に影響する可能性のある要因ならびにその他の重大なリスクに関する概要および詳細な一覧については、証券取引委員会に提出した、最新の10-K年次報告書パートI 1A項目「危険因子」を参照してください。なお、この内容は、提出済みもしくは提出予定の10-Q四半期報告書パートII 1A項目「危険因子」で更新されることがあります。ボストン・サイエンティフィ

ク社は、見込みの変更やその根拠となる事象、条件、状況の変化など、将来予測の記述に記載された内容と実際の結果が異なる可能性に影響を及ぼすような変化について、それらを反映するように将来予測に関する記述の内容を公に更新または改訂する意思および義務を一切否認します。本注意事項は本プレスリリースに記載された将来予測に関するすべての記述に適用されます。

非 GAAP による財務情報の使用

ボストン・サイエンティフィック社の非 GAAP(一般会計原則)の数値を対応する GAAP の数値に調整したもの、およびボストン・サイエンティフィック社がこうした非 GAAP の数値を使用する理由につきましては、本プレスリリースに付属の別紙をご覧ください。

連絡先:

スティーブン・カンパニーニ
508-652-5740(社内)
Steven.companini@bsci.com
メディア向け情報担当

デニス・カイグラー
508-650-8330(社内)
denise.kaigler@bsci.com
メディア向け情報担当

ショーン・ヴァーチス
508-652-5305(社内)
investor_relations@bsci.com
投資家向け情報担当

<ボストン・サイエンティフィック社について>

ボストン・サイエンティフィック社(米国マサチューセッツ州)は、最先端医療デバイス(医療機器)の開発・製造・販売を行うグローバル企業です。インターベンション(身体をメスで大きく切らない治療)の分野では世界最大手。

<http://www.bostonscientific.com>

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

プレスルーム (コーポレートコミュニケーションズ)

TEL: 03-3343-9411, FAX: 03-3343-0264

E-mail でのお問合せはこちらへ (pressroom@bsjkk.co.jp)

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社